

ユーザーガイド


Dell P4317Q


モデル番号:P4317Q


規制モデル:P4317Qc



注意、警告、危険

 **注意:** 注意は、コンピューターのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。

 **警告:** 警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。

 **危険:** 危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

この文書の情報は事前の通知なく変更することがあります。

© 2016-2019 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. の書面による許可なく、いかなる方法においても、これら資料の複製は固く禁じられています。

この文章中で使用されている商標は次のとおりです。Dell および DELL のロゴは Dell Inc. の商標です。Microsoft および Windows は米国内およびその他の国における Microsoft 社の商標または登録商標です。Intel は米国内およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。ATI は Advanced Micro Devices, Inc の商標です。

この文書中、その他の商標および商品名は、製品のマークおよび名前を主張する実体を言及するために使用されることがあります。Dell Inc. は自社以外の商標および商品名に対して、いかなる所有権を主張するものではありません。

目次


お使いのモニターについて	5
パッケージ内容	5
製品の特徴	6
モニターの仕様.....	7
ユニバーサルシリアルバス (USB) インターフェース.....	16
部品とコントロールの確認	18
プラグアンドプレイ機能.....	21
LCD モニター品質とピクセルポリシー	21
お手入れのガイドライン	21
モニターの設定	22
スタンドの取り付け.....	22
モニターの接続.....	23
モニタースタンドを取り外す	27
壁取り付け(オプション)	27


モニターの操作	28
モニターの電源をオンにする	28
フロントパネルコントロールの使用	28
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用	30
モニターの設定	45
最大解像度の設定	45
傾斜の使用	46
トラブルシューティング	47
セルフテスト	47
ビルトイン診断	48
共通の問題	49
製品固有の問題	51
ユニバーサルシリアルバス (USB) 固有の問題	52
Mobile High-Definition Link (MHL) 固有の問題	52
付録	53
FCC 通知 (米国のみ) およびその他の規制情報	53
Dell に連絡	53

お使いのモニターについて

パッケージ内容

モニターには下記で示されるコンポーネントが付属しています。すべてのコンポーネントが含まれていることを確認し、何か足りない場合には [Dell に連絡](#) ください。

 **注意:**一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

 **注意:**他のスタンドとセットアップする場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドのセットアップガイドを参照してください。

	<ul style="list-style-type: none">• モニター
	<ul style="list-style-type: none">• スタンドライザー
	<ul style="list-style-type: none">• スタンド台
	<ul style="list-style-type: none">• VESA カバー
	<ul style="list-style-type: none">• 電源ケーブル (国によって異なります)
	<ul style="list-style-type: none">• HDMI ケーブル

	<ul style="list-style-type: none"> ● mDP 対 DP ケーブル
	<ul style="list-style-type: none"> ● DP 対 DP ケーブル
	<ul style="list-style-type: none"> ● USB 3.0 アップストリームケーブル (モニターの USB ポートを有効にします)
 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単セットアップガイド ● 安全および規制情報

製品の特徴

Dell P4317Q 平面パネルディスプレイには、アクティブマトリクス方式、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニターの特徴は次のとおりです。

- 107.98 cm (42.51 インチ) の表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 3840 x 2160、さらに低解像度のフルスクリーンをサポートします。
- プラグアンドプレイ機能 (システムでサポートされている場合)。
- VGA、HDMI (MHL)、DP および mDP による接続が可能です。古いシステムにも新しいシステムにも簡単に接続できます。
- ビルトインスピーカー (8Wx2)。
- 簡単な設定と画面の最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- PIP および PBP 機能をサポートします。

モニターの仕様

モデル	P4317Q
スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	プレーン内切り替え
表示可能画像	
ベゼルの幅 対角 水平、アクティブエリア 垂直、アクティブエリア 領域	566.40 mm (22.30 インチ) 107.98 cm (42.51 インチ) 941.18 mm (37.05 インチ) 529.42 mm (20.84 インチ) 4982.80 cm ² (772.12 インチ ²)
ピクセルピッチ	0.2451 x 0.2451 mm
視野角 (垂直 / 水平)	178° / 178° (標準値)
輝度	350 cd/m ² (標準値)
コントラスト比	1000:1 (標準値)
アスペクト比	16:9
ディスプレイ画面のコーティング	硬度 2H の反射防止処理
バックライトテクノロジー	白色 LED エッジライト方式
応答時間	8 ms
色深度	10 億 6 千万色
PIP/PBP	はい
接続	1xDP 1.2 1xmDP 1.2 2xHDMI 1.4 (MHL) 1xVGA 1xUSB 3.0 ポート - アップストリーム 4xUSB 3.0 ポート 1x オーディオ入力 1x ヘッドフォン出力 1xRS232
オーディオ出力	8Wx2
ビルトインデバイス - USB	アップストリーム x1 ダウンストリーム x4 (1x 充電ポートを含む)
DDM 互換性	はい

調整可能	
傾斜	-5° ~ 10°
セキュリティ	セキュリティロックスロット(ケーブルロックは別売りです)

* 72%(CIE 1931)、82%(CIE 1976)

解像度の仕様

モデル	P4317Q
水平走査範囲	30 kHz ~ 83 kHz(自動)
垂直走査範囲	56 Hz ~ 76 Hz(自動)
最大プリセット解像度	3840 x 2160 @ 60 Hz(DPのみ)

プリセットディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数(MHz)	同期極性(水平 / 垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1440 x 900	55.5	60.0	88.8	+/-
VESA、1440 x 900	70.1	75.0	136.8	-/+
**VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA、3840 x 2160	67.5	30.0	297.0	+/+
*VESA、3840 x 2160	135.0	60.0	594.0	+/+

* DisplayPort 1.2をサポートするグラフィックスカードが必要です

**BPPモードは、最大解像度 1920x1080@60Hzをサポートします

電氣的仕様

モデル	P4317Q
ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none"> アナログ RGB、0.7 ボルト、+/-5%、75 Ω 入力インピーダンスで肯定極性 HDMI1.4、それぞれの異なるラインの場合 600 mV (100 Ω 入力インピーダンス時)
同期入力信号	水平 / 垂直分離同期、極性自由 TTL レベル、SOG (緑信号に複合同期信号)
AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100VAC から 240VAC/50Hz または 60Hz ± 3Hz / 2 A
突入電流	120 V:30 A (最大) 240 V:60 A (最大)

物理特性

モデル	P4317Q
シグナルケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none"> アナログ:取り外し可能、D-Sub、15 ピン デジタル:取り外し可能、HDMI、19 ピン デジタル:取り外し可能、mDP、20 ピン デジタル:取り外し可能、DP、20 ピン
寸法(スタンド付き)	
高さ	658.0 mm (25.90 インチ)
幅	973.1 mm (38.31 インチ)
奥行き	250.0 mm (9.84 インチ)
寸法(スタンドなし)	
高さ	566.4 mm (22.29 インチ)
幅	973.1 mm (38.31 インチ)
奥行き	83.0 mm (3.27 インチ)
スタンド寸法	
高さ	488.6 mm (19.24 インチ)
幅	320.0 mm (12.60 インチ)
奥行き	250.0 mm (9.84 インチ)
重量	
重量(パッケージを含む)	24.4 kg (53.78 lb)
重量(組み立てスタンドとケーブルを含む)	17.93 kg (39.51 lb)
組み立てスタンドなしの重量	14.11 kg (31.09 lb)

組み立てスタンドの重量	3.3 kg (7.26 lb)
-------------	------------------

警告:別途購入したサードパーティ製のアームまたはポールは、モニターの重量だけでなく、外部ブラケットおよびインターフェイスプレートをサポートする必要があります。

環境特性

モデル	P4317Q	
温度		
運転時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	
非運転時	保管時	<ul style="list-style-type: none"> • -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
	輸送時	<ul style="list-style-type: none"> • -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
湿度		
運転時	10% ~ 80% (結露しない)	
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> • 保管時:5% ~ 90% (結露しない) • 輸送時:5% ~ 90% (結露しない) 	
高度		
運転時(最大)	5,000 m (16,400 ft)	
非運転時(最大)	12,192 m (40,000 ft)	
熱出力	<ul style="list-style-type: none"> • 494.9 BTU/時 (最大) • 238.9 BTU/時 (標準) 	

電源管理モード

お使いの PC に VESA の DPM™ 準拠ディスプレイカードまたはソフトウェアがインストールされている場合、モニターは使用中でないときには、自動的に消費電源を低減します。これは電源セーブモードです*。コンピューターがキーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は消費電力とこの自動省電力機能の信号を示しています。

* OFF モードのゼロ電力消費は、モニターからメインケーブルを切断した場合のみ達成できます。

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源ランプ	電力消費
通常動作	有効	有効	有効	白	<160 W (最大)** <70 W (標準)
アクティブオフモード	無効	無効	空白	白 (淡い点灯)	0.3W 以下
スイッチオフ	-	-	-	オフ	0.3W 以下

スピーカーの仕様

モデル	P4317Q
スピーカーの定格出力	2 x 8 W
周波数応答	200 Hz ~ 16 kHz
インピーダンス	6 Ω

OSD は、通常動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードで任意のボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。

Dell P4317Q

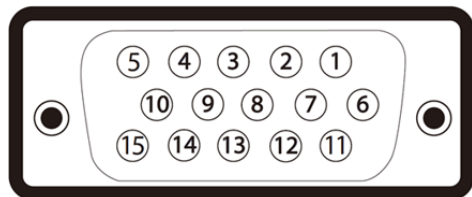
  デバイスからの VGA 信号がありません。

キーボードのキーをどれでも押すか、マウスを動かすか、デバイスを復帰させてください。画面が表示されない場合は、再度モニターボタンを押して正しい入力ソースを選択してください。

OSD にアクセスするには、コンピューターとモニターをアクティブにします。

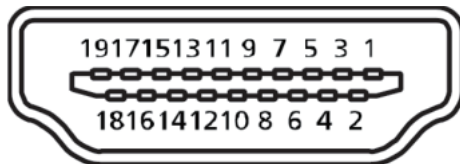
ピン割り当て

VGAコネクター



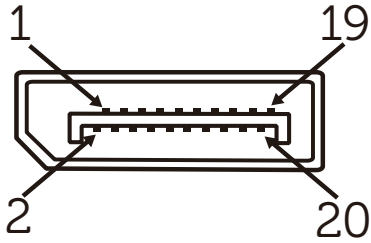
ピン番号	接続された信号ケーブルの15ピン側
1	ビデオ赤
2	ビデオ緑
3	ビデオ青
4	GND
5	セルフテスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	コンピューター5V/3.3V
10	GND-sync
11	GND
12	DDCデータ
13	H-sync
14	V-sync
15	DDCクロック

HDMIコネクタ



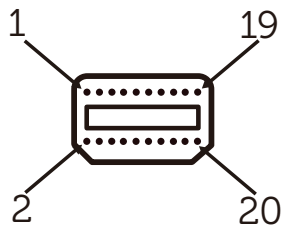
ピン番号	接続された信号ケーブルの19ピン側
1	T.M.D.S.データ2-
2	T.M.D.S.データ2シールド
3	T.M.D.S.データ2+
4	T.M.D.S.データ1+
5	T.M.D.S.データ1シールド
6	T.M.D.S.データ1-
7	T.M.D.S.データ0+
8	T.M.D.S.データ0シールド
9	T.M.D.S.データ0-
10	T.M.D.S.クロック+
11	T.M.D.S.クロックシールド
12	T.M.D.S.クロック-
13	CEC
14	未使用(デバイスに無接続)
15	SCL
16	SDA
17	DDC/CEC接地
18	+5V電源
19	ホットプラグ検出

DPコネクタ



ピン番号	接続された信号ケーブルの20ピン側
1	ML0(p)
2	GND
3	ML0(n)
4	ML1(p)
5	GND
6	ML1(n)
7	ML2(p)
8	GND
9	ML2(n)
10	ML3(p)
11	GND
12	ML3(n)
13	GND
14	GND
15	AUX(p)
16	GND
17	AUX(n)
18	GND
19	Re-PWR
20	+3.3V DP_PWR

ミニDPコネクタ




ピン番号	接続された信号ケーブルの20ピン側
1	GND
2	ホットプラグ検出
3	ML3(n)
4	GND
5	ML3(n)
6	GND
7	GND
8	GND
9	ML2(n)
10	ML0(n)
11	ML2(p)
12	ML0(p)
13	GND
14	GND
15	ML1(n)
16	AUX(P)
17	ML1(p)
18	AUX(N)
19	GND
20	+3.3V DP_PWR

ユニバーサルシリアルバス (USB) インターフェース

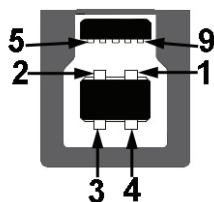
このセクションでは、モニターで使用できる USB ポートについて説明します。

 **注意:** このモニターは超高速 USB 3.0 互換です。

転送速度	データ率	電力消費 *
超高速	5 Gbps	4.5 W (最大、各ポート)
高速	480 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)
全速度	12 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)

* BC1.2 準拠デバイスまたは標準の USB デバイスの USB ダウンストリームポート (SS- の電池アイコンの付いたポート) で最大 1.5A。

USB アップストリームコネクタ



ピン番号	コネクタの 9 ピン側
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+

USB ダウンストリームコネクタ




ピン番号	コネクタの 9 ピン側
1	VCC
2	D-
3	D+
4	GND
5	SSTX-
6	SSTX+
7	GND
8	SSRX-
9	SSRX+

USB ポート

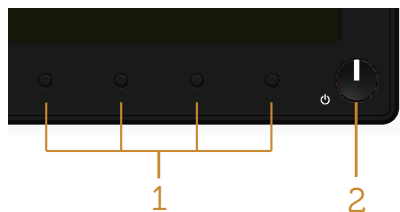
- 1x アップストリーム - 青色
- 4x ダウンストリーム - 青色
- 充電ポート - **SS** 電池アイコンが付いたポート。BC1.2 互換機器使用時に充電に対応。

 **注意:** USB 3.0 機能には USB 3.0 対応のコンピューターが必要です。

 **注意:** モニターの USB インターフェイスは、モニターがオンのとき、または省電力モード時にのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。


部品とコントロールの確認

前面ビュー



フロントパネルコントロール

ラベル	説明
1	機能ボタン(詳細については、 モニターの操作 を参照してください)
2	電源オン / オフボタン(LED ランプあり)

 **注意:**ベゼルに光沢のあるディスプレイの場合、周囲の光やきらきらした表面の光をベゼルが反射し、妨げになる可能性があるため、ディスプレイの交換を検討してください。

背面ビュー

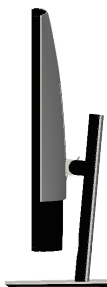


モニタースタンドを取り付けていない状態の
背面ビュー

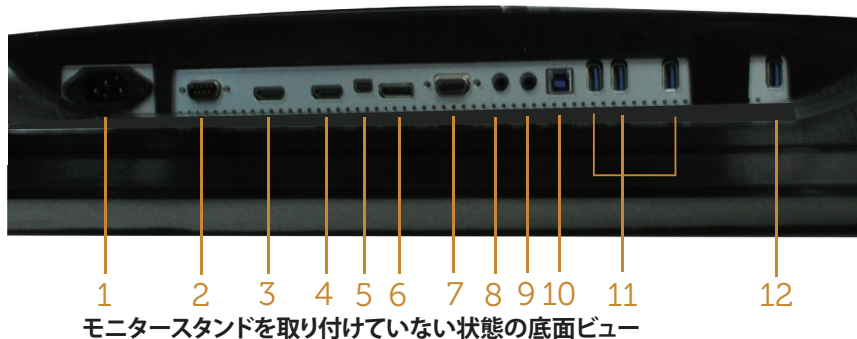
モニタースタンドを取り付けた
状態の背面ビュー

ラベル	説明	用途
1	VESA カバーの後ろの VESA 取り付け穴： 1) 100 mm x 100 mm 2) 200 mm x 200 mm	特定の VESA 取り付け穴に適合する壁 取り付けキットを利用する壁取り付けモニ ター。
2	規制ラベル	規制承認を一覧表示。
3	セキュリティロックスロット	セキュリティロックでモニターを固定 (セキュリティロックは含まず)。
4	バーコードシリアル番号ラベル	技術サポートを受けるために Dell に 連絡する際に、このラベルを参照。
5	ケーブル管理スロット	スロットを通して配置することで、ケー ブルをまとめるために使用します。

側面ビュー



底面ビュー



ラベル	説明	用途
1	AC 電源コードコネクタ	モニターの電源ケーブルを接続します。
2	RS232 ポート	コンピューターとモニターを RS232 ケーブルを使用して接続します。
3	HDMI/MHL 1 ポートコネクタ	コンピューターを HDMI/MHL ケーブルで接続します。
4	HDMI/MHL 2 ポートコネクタ	
5	mini DisplayPort	コンピューターとモニターを mDP 対 DP ケーブルを使用して接続します。
6	DisplayPort	コンピューターとモニターを DP 対 DP ケーブルを使用して接続します。
7	VGA ポート	コンピューターとモニターを VGA ケーブルを使用して接続します。
8	オーディオライン入力ポート	オーディオケーブル (別途購入) をソースデバイスからモニターに接続します。
9	ヘッドフォン出力ポート	外部ヘッドフォン (別途購入) に接続します
10	USB アップストリームポート	モニターに付属する USB ケーブルをコンピューターに接続します。このケーブルを接続すると、USB コネクタをモニターで使用可能。
11	USB ダウンストリームポート	USB デバイスを接続。このコネクタは、USB ケーブルをコンピューターと、モニターの USB アップストリームコネクタに接続した後のみ利用可能。*
12		

* ポート (12) サポート電池充電を使用します。

プラグアンドプレイ機能


任意のプラグアンドプレイ互換システムに、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコルを使用して、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を自動的に提供するため、システムによる自己設定およびモニター設定の最適化が可能です。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

LCD モニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。これらの固定ピクセルは見つけにくく、表示品質や使い勝手に影響させません。Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト: www.dell.com/support/monitors。

お手入れのガイドライン

モニターの清掃

 危険モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いてください。

 警告: モニターを清掃する前に、[安全上の注意](#)を読んで、これに従ってください。

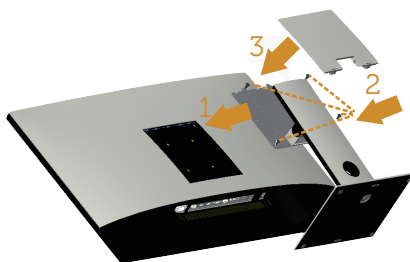
モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 静電防止スクリーンを清掃するには、柔らかい清潔な布を水で軽く湿らせます。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないでください。
- モニターの清掃には、ぬるま湯で軽く湿らせた布を使用します。乳状のフィルムがモニターの表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いてください。
- モニターは注意して取り扱ってください。黒い色のモニターは引っ掻くと白い擦り傷が残り、明るい色のモニターより目立ちます。
- モニターの画像品質を最高の状態に維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。

モニターの設定

スタンドの取り付け

- 注意: 他のスタンドとセットアップする場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドのセットアップガイドを参照してください。
- 注意: 工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。
- 注意: 次の手順はスタンド付モニターに適用されます。



モニタースタンドを取り付けるには:

1. モニタースタンドを取り付けます。
2. 4本のねじを締めつけるには。
3. VESAカバーを取り付けます。

モニターの接続

-  危険:このセクションの手順を始める前に、安全上の注意に従ってください。
-  注意:すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。

モニターをコンピューターに接続するには:

1. コンピューターの電源を切り、電源ケーブルを切断します。
2. HDMI/MHL/mDP/DP/VGA/ オーディオ /USB 3.0 ケーブルをモニターからコンピューターに接続します。

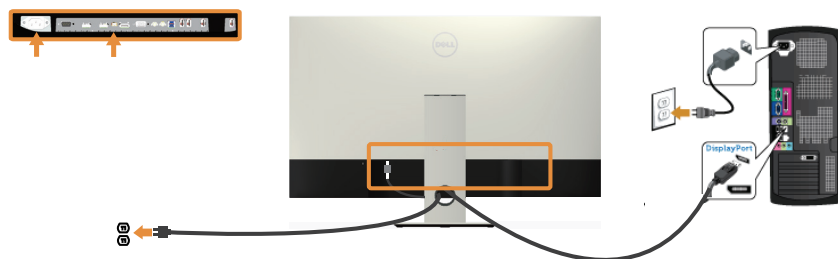
HDMI ケーブルの接続



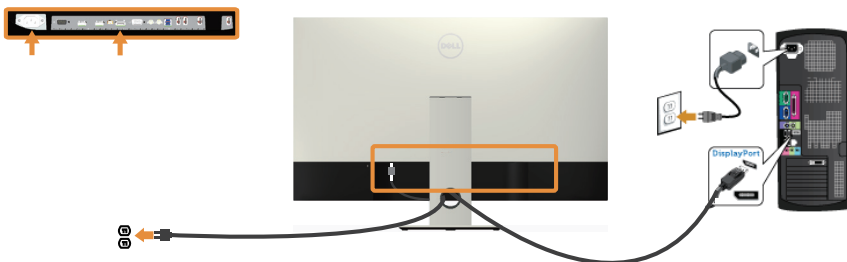
MHL ケーブルの接続 (別売り)



黒色 DP (mDP 対 DP) ケーブルの接続



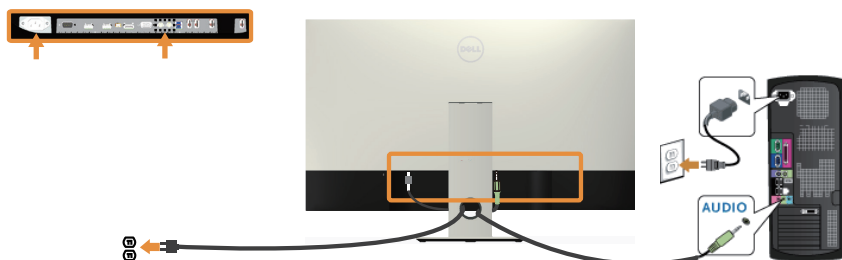
黒色 DP (DP 対 DP) ケーブルの接続



VGA ケーブルの接続 (別売り)



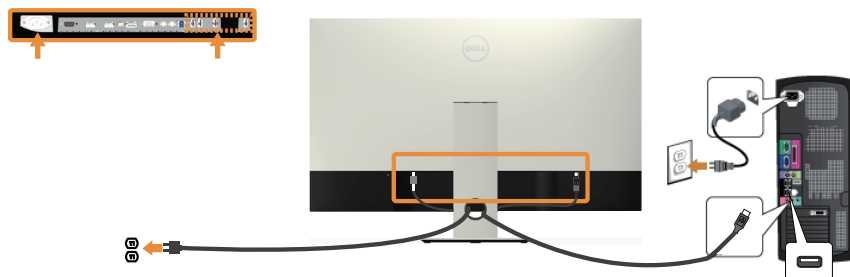
オーディオケーブルの接続 (別売り)







USB 3.0 ケーブルの接続

HDMI/MHL/mDP/DP ケーブルの接続を完了したら、以下の手順に従って、USB 3.0 ケーブルをコンピューターに接続し、モニターのセットアップを完了してください：

1. アップストリーム USB 3.0 ポート (付属のケーブル) をコンピューターの適切な USB 3.0 ポートに接続します。(詳細は、[底面ビュー](#)を参照してください。)
2. USB 3.0 周辺機器をモニターのダウンストリーム USB 3.0 ポートに接続します。
3. コンピューターとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。
4. モニターとコンピューターの電源をオンにします。モニターに画像が表示されたら、[ユニバーサルシリアルバス \(USB\) 固有の問題](#)を参照してください。
5. モニタースタンドのケーブルスロットを使ってケーブルを整理してください。



Mobile-High Definition Link (MHL) の使用

-  **注意:**このモニターは MHL 認証を受けています。
-  **注意:**MHL 機能を使用するには、MHL 出力に対応した MHL 認証のケーブルとソースデバイスのみを使用します。
-  **注意:**MHL ソースデバイスによっては、画像を出力するのに数秒またはそれ以上かかる場合があります。
-  **注意:**接続した MHL ソースデバイスがスタンバイモードに入ると、MHL ソースデバイスの出力によっては、モニターの画面が黒くなったり、あるいは次のようなメッセージを表示したりします。




MHL 接続を有効にするには、次の手順に従ってください: モニターの設定

1. モニターの電源ケーブルを AC コンセントに差し込みます。
2. MHL ソースデバイスの (micro) USB ポートと、モニターの HDMI/MHL 1 ポートまたは HDMI/MHL 2 ポートを、MHL 認証ケーブルで接続します (詳細については、[底面ビュー](#)を参照してください)。
3. モニターと MHL ソースデバイスの電源をオンにします。
4. OSD メニューを使用して、モニターの入力ソースを HDMI/MHL 1 または HDMI/MHL 2 に設定します (詳細は、[オンスクリーンディスプレイ \(OSD\) メニューの使用](#)を参照してください)。
5. 画像が表示されない場合は、[Mobile High-Definition Link \(MHL\) 固有の問題](#)を参照してください。



ケーブルを整理する

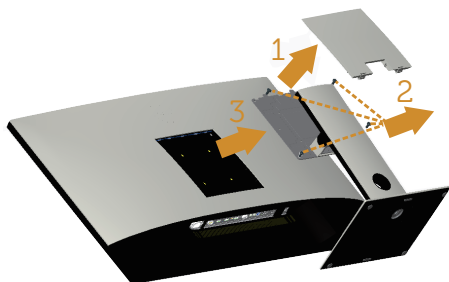


モニターとコンピューターに必要なケーブルすべてを取り付けた後、上の図のようにすべてのケーブルを整理します。

-  **注意:**接続されているケーブルをもう一度外して穴を通す必要があります。

モニタースタンドを取り外す

-  **注意:** スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニターを柔らかい、きれいな面に置いていることを確認してください。
-  **注意:** 次の手順はスタンド付モニターに適用されます。




スタンドを取り外すには:

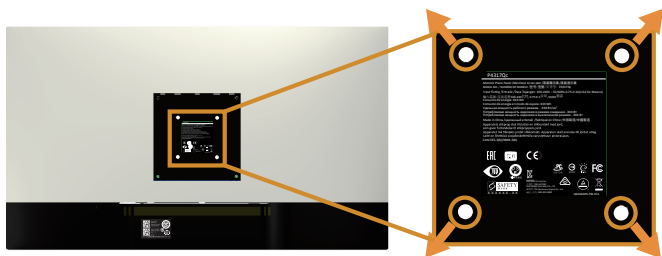
1. VESA カバーを開梱します。
2. ドライバーを使って、4 本のねじをはずします。
3. スタンドを持ち上げ、モニターから離します。

壁取り付け(オプション)

(ねじ寸法:M4 x 10 mm)。


VESA 互換の壁取り付けキットに付属する指示を参照してください。

1. モニターパネルを、柔らかい布またはクッションを敷いた安定した平らなテーブルの上に置きます。
 2. 台を取り外します。
 3. Phillips のプラスドライバーを使って、プラスチックカバーを固定している 4 つのねじを外します。
 4. 壁取り付けキットの取り付けブラケットをモニターに取り付けます。
 5. 壁取り付けキットに付属する取扱説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。
-  **注意:** 54 kg の最小重量 / 荷重負担能力のある、UL 規格認定取得済みの壁取り付けブラケットのみを使用してください。



モニターの操作

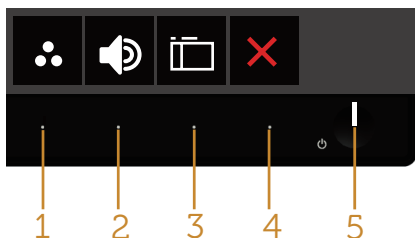
モニターの電源をオンにする

モニターの電源を入れるには  ボタンを押します。







フロントパネルコントロールの使用

表示されている画像を調整するには、モニターの前面にあるコントロールボタンを使用します。



以下の表は、フロントパネルのボタンについてまとめたものです。

フロントパネルのボタン	説明
1  ショートカットキー / プリセットモード	プリセットモードの一覧から選ぶには、このボタンを使用します。
 ショートカットキー / 音量	ボタンを使って、音量を調整します。最小は 0(-) です。最大は 100 (+) です。
 メニュー	メニューボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSD メニューを選択します。 OSD メニューにアクセス を参照してください。
 終了	このボタンを使用してメインメニューに戻るか、OSD メインメニューを終了します。

2&3



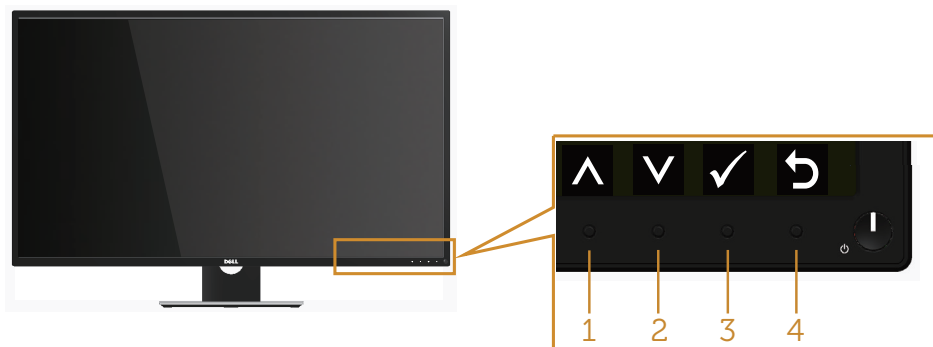
電源オン / オフボタン (LED
ランプあり)





電源ボタンを使用して、モニターの電源のオン / オフ
を切り替えます。

白いライトが点灯しているときには、モニターがオン
であることを示しています。白いライトの点滅は、省
電力モードに入っていることを示しています。

OSD コントロール


画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるボタンを使用します。




フロントパネルのボタン	説明
1  上	メニューで値を増やしたり、上に移動したりするには、 上ボタンを使用します。
2  下	メニューで値を減らしたり、下に移動したりするには、 下ボタンを使用します。
3  OK	メニューで選択を確定するには、OK ボタンを使用します。
4  戻る	前のメニューに戻るには、戻るボタンを使用します。

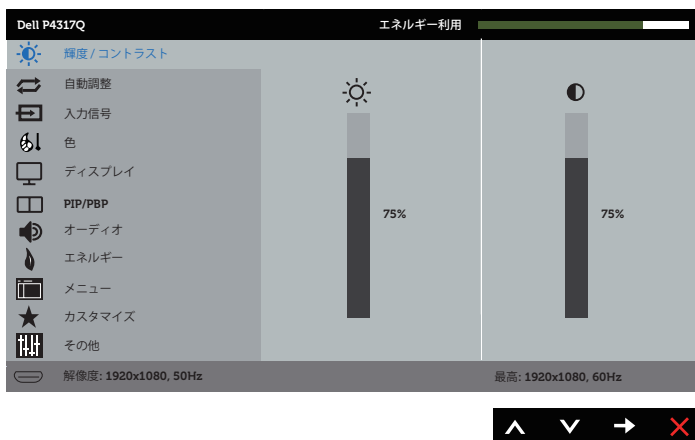
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

OSD メニューにアクセス

 **注意:**別のメニューに移動するか、OSD メニューを終了するか、OSD メニューが自動的に閉じられると、それまでの変更内容が自動的に保存されます。

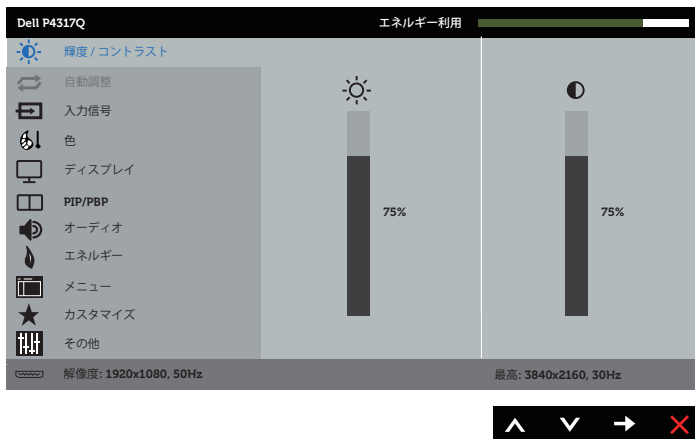
1. OSD メインメニューを表示するには、 ボタンを押します。

アナログ (VGA) 入力用のメインメニュー



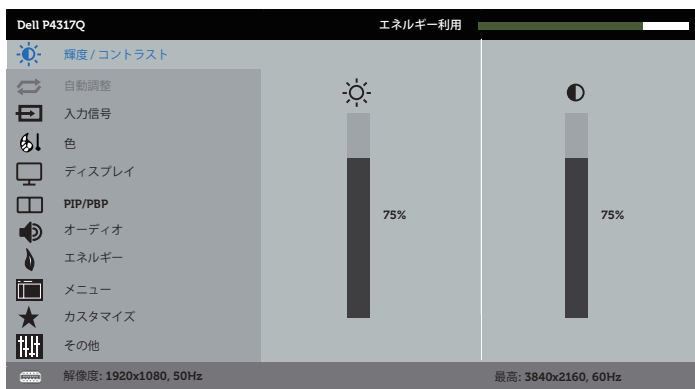
または

デジタル (HDMI/MHL 1/HDMI/MHL 2) 入力用のメインメニュー



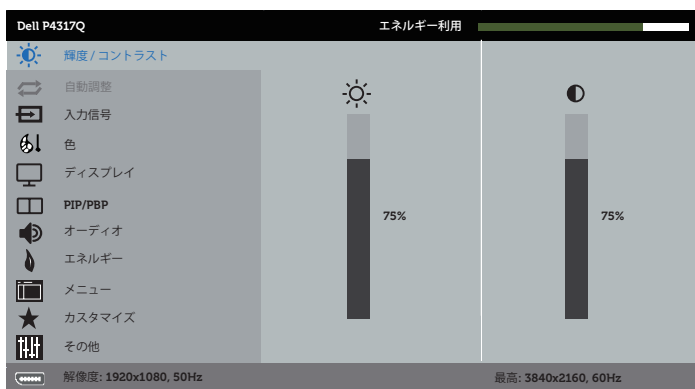
または

デジタル (mDP) 入力用のメインメニュー


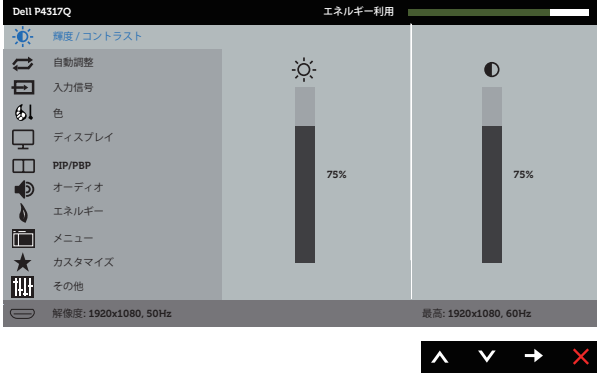


または

デジタル (DP) 入力用のメインメニュー



2. ▲と▼ボタンを押して、設定オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。
3. →ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4. ▲と▼ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。
5. →を押して、メニューのインジケーターに従って▲ボタンと▼ボタンを使い変更を行います。
6. ⌂ボタンを選択してメインメニューに戻ります。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	輝度 / コントラスト	<p>このメニューを使用して輝度 / コントラスト調整を有効にします。</p>  <p>まず、輝度を調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。</p> <p>▲ボタンを押してコントラストを上げ、▼ボタンを押してコントラストを下げます (最小 0 / 最大 100)。</p> <p>コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。</p> <p>注意: 動的コントラストがオンになっているときには、手動で輝度を調整することはできません。</p>



自動調整

このキーは自動設定と調整メニューに使用します。



現在の入力に対するモニターの自己調整として、次のダイアログが黒い画面に表示されます。



自動調整は、入力ビデオ信号に対するモニターの自己調整を可能にします。自動調整を使用後、ディスプレイ設定から周波数(粗い)とフェーズ(細かい)コントロールを使用して、モニターをさらに調整できます。

注意: アクティブなビデオ入力信号がない場合、またはケーブルが接続されていない間にボタンを押すと、自動調整は行われません。







このオプションはアナログ(VGA)コネクタを使用している場合のみ利用できます。



入力信号

モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。



	VGA	<p>アナログ (VGA) コネクタを使用している場合は、VGA入力を選択します。⬅️を押して、VGA入力ソースを選択します。</p> <p>注意: VGAは、最大解像度1920x1080@60Hzをサポートします。</p>
	DP	<p>DPコネクタを使用している場合は、DP入力を選択します。➡️を押して、DP入力信号を選択します。</p>
	mDP	<p>DPコネクタを使用している場合は、mDP入力を選択します。➡️を押して、mDP入力信号を選択します。</p>
	HDMI/MHL 1 HDMI/MHL 2	<p>HDMIコネクタを使用している場合は、HDMI/MHL 1またはHDMI/MHL 2を選択します。➡️を押し、HDMI/MHL 1またはHDMI/MHL 2入力ソースを選択します。</p>
	自動選択	<p>利用可能な入力信号をスキャンするには自動選択を選択します。</p>
	入力信号のリセット	<p>モニターの入力信号を工場出荷時の設定にリセットします。</p>
	色	<p>色を使って色設定モードを調整します。</p> 


プリセットモード

プリセットモードを選択すると、リストから標準、マルチメディア、ムービー、ゲーム、用紙、暖色、寒色またはユーザーカラーを選択できます。

- 標準: モニターのデフォルトカラー設定を読み込みます。これはデフォルトのプリセットモードです。
- 用紙: テキストを表示するのに適した明るさとシャープネス設定を読み込みます。テキストの背景をブレンドして、カラー画像に影響を与えることなしに紙メディアをシミュレートします。RGB 入力形式にのみ適用します。
- 暖色: 色温度を上げます。画面は赤 / 黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。
- 寒色: 色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- ユーザーカラー: 手動でカラー設定を調整することができます。

▲ ボタンと ▼ ボタンを押して 3 つの色 (R、G、B) 値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



<p>入力カラー形式</p>	<p>ビデオ入力モードを以下に設定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● RGB: モニターが HDMI ケーブルを使用してコンピューターや DVD プレイヤーと接続されている場合にこのオプションを選択します。 ● YPbPr: お使いの DVD プレイヤーが YPbPr 出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。 
<p>色のリセット</p>	<p>モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。</p>



ディスプレイ

ディスプレイを使用して画像を調整します。



アスペクト比

画像の比率をワイド 16:9、4:3、5:4 に調整します。

Underscan (アンダースキャン)

アンダースキャンは、ディスプレイ領域を低減するディスプレイ機能を説明します。

モニタースリープ

モニタースリープは、ソースの信号を喪失した後の動作を定義します。スリープモードに移行する、または、スリープモードに移行しないのいずれかです。

水平位置

▲または▼ボタンを使用して、画像の左と右を合わせます。最小は0(-)です。最大は100(+)

注意:VGAソースに対してのみ適用されます。

垂直位置

▲または▼ボタンを使用して、画像の上と下を合わせます。最小は0(-)です。最大は100(+)

注意:VGAソースに対してのみ適用されます。

シャープネス

これは画像をシャープまたはソフトにする機能です。▲または▼を使用して、シャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

周波数

フェーズと周波数調整で、モニターを好みに調整できます。▲または▼ボタンを使用して、最高の画像品質に調整します。最小は0(-)です。最大は100(+)

注意:VGAソースに対してのみ適用されます。







フェーズ


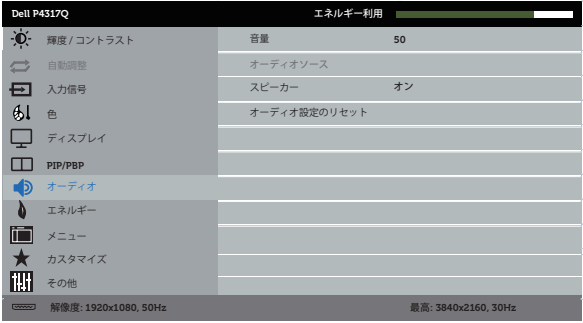

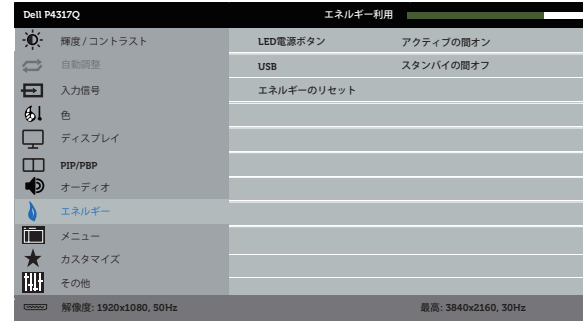
フェーズ調整を使用して満足な結果が得られないときは、周波数(粗い)調整を使用し、その後にフェーズ(細かい)をもう一度使用します。最小は0(-)です。最大は100(+)



注意:VGAソースに対してのみ適用されます。

画面のリセット

このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。

	<p>PIP/PBP</p>	
	<p>PIP/PBP Mode (PIP/PBP モード)</p>	<p>5つのモードがあります:ピクチャーインピクチャー (PIP) および 2/3/4 つのウィンドウを持つピクチャーバイピクチャー (PBP) です。</p> <p>オフ:標準ディスプレイモード</p> <p>PIP:PIP 2 ウィンドウ</p> <p>PBP  :PBP 2 ウィンドウ</p> <p>PBP  :PBP 3 ウィンドウモード 1</p> <p>PBP  :PBP 3 ウィンドウモード 2</p> <p>PBP  :PBP 4 ウィンドウ</p>
	<p>PIP/PBP Source (PIP/PBP 入力)</p>	<p>PIP または PBP 入力を選択します。</p>
	<p>PIP Size (PIP サイズ)</p>	<p>PIP ウィンドウ (小) または (大) を選択します。</p>
	<p>PIP Position (PIP 位置)</p>	<p>PIP サブウィンドウの位置を選択します。 左上、右上、右下または左下を選択します。</p>
	<p>PBP Size (PBP サイズ)</p>	<p>PBP ウィンドウのアスペクト比または全画面を選択します。</p>

	<h3>オーディオ</h3>	
	<h3>音量</h3>	<p>ボタンを使って、音量を調整します。最小は 0(-) です。最大は 100(+) です。</p>
	<h3>オーディオソース</h3>	<p>オーディオソースモードを次のように設定できます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウ 1 • ウィンドウ 2 • ウィンドウ 3 • ウィンドウ 4
	<h3>スピーカー</h3>	<p>スピーカー機能を有効または無効にします。</p>
	<h3>オーディオのリセット</h3>	<p>このオプションを選択し、デフォルトのオーディオ設定に戻します。</p>
	<h3>エネルギー</h3>	
	<h3>LED 電源ボタン</h3>	<p>電源 LED ランプをアクティブの間オンに、またはエネルギーを節約するためにアクティブの間オフに設定します。</p>
	<h3>USB</h3>	<p>モニターがスタンバイモード時に、USB 機能の有効または無効の切り替えることができます。</p> <p>注意：スタンバイモードでUSBをオン/オフにするには、USB アップストリームケーブルを外す必要があります。USB アップストリームケーブルが接続されているときには、このオプションはグレー表示され使用することができません。</p>
	<h3>エネルギーのリセット</h3>	<p>デフォルトのエネルギー設定を復元するには、このオプションを選択します。</p>

	メニュー	<p>OSD の言語、画面にメニューが表示される時間など、OSD 設定を調整するにはこのオプションを選択します。</p> 
	言語	<p>言語オプションを使用して、OSD ディスプレイを 8 つの言語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語)のいずれかに設定します。</p>
	透明度	<p>このオプションを選択し、▲ ボタンと ▼ ボタンを押してメニューの透過性 (0 ~ 100) を変更します。</p>
	タイマー	<p>OSD 保持時間 : ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。</p> <p>▲ または ▼ を使用してスライダーを 5 ~ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。</p>
	ロック	<p>ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。ロックが選択されている場合、ユーザーは調整できません。すべてのボタンがロックされます。</p> <p>注意: OSD がロックされているときにメニューキーを押すと、エントリーで「OSD ロック」があらかじめ設定された OSD 設定メニューが直接表示されます。○ キーを 10 秒以上押し続けるとアンロックされ、適用可能なすべての設定にアクセスできるようになります。</p>
	メニューのリセット	<p>すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。</p>



カスタマイズ

ショートカットキー 1、ショートカットキー 2、カスタマイズのプリセット、プリセットモード、音量の中から機能を選択し、ショートカットキーとして設定することができます。



ショートカットキー 1

ユーザーは、プリセットモード、輝度/コントラスト、自動調整、入力信号、アスペクト比、PIP/PBPモード、音量の中からいずれかを選択して、ショートカットキー1を設定できます。

ショートカットキー 2

ユーザーは、プリセットモード、輝度/コントラスト、自動調整、入力信号、アスペクト比、PIP/PBPモード、音量の中からいずれかを選択して、ショートカットキー2を設定できます。。



カスタマイズのプリセット


ショートカットキーをリセットし、デフォルト設定に戻すことができます。



その他

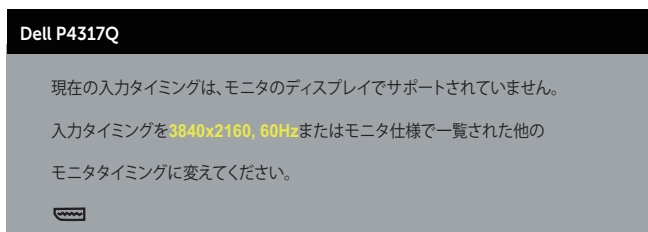


<p>DDC/CI</p>	<p>DDC/CI(ディスプレイデータチャンネル / コマンドインターフェイス)により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター(輝度、色バランスなど)を調整できます。 オフを選択することで、この機能を無効にできます。 この機能をオンにすることで、ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にすることができます。</p> 
<p>LCD コンディショニング</p>	<p>この機能により、残像の軽微な問題を低減することができます。残像の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。LCD コンディショニングを開始するには、オンを選択します。</p> 
<p>ファームウェア</p>	<p>ファームウェアバージョン</p>
<p>他をリセット</p>	<p>その他の設定メニューですべての設定を初期値に戻します。</p>
<p>工場リセット</p>	<p>すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。</p>

 **注意:**このモニターには自動的に輝度を調整して LED の経年変化を補正する機能が内蔵されています。

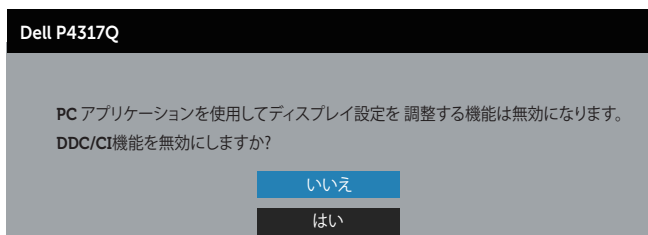
OSD 警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。



これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが対応している水平および垂直周波数幅については、[モニターの仕様](#)を参照してください。推奨モードは 3840 x 2160 です。

DDC/CI 機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。

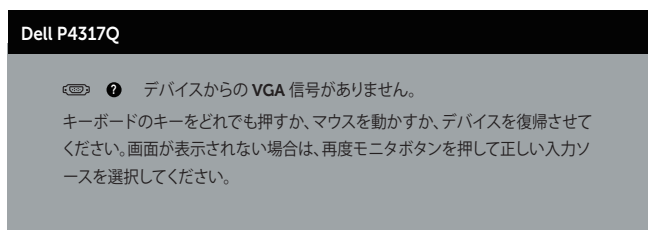


モニターが、**省電力モード**に入る際には、次のメッセージが表示されます。



OSD にアクセスするには、コンピューターをアクティブにし、モニターを起動します。

電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のメッセージが表示されます。



VGA、HDMI、DP または mDP ケーブルが接続されていない場合、下の画像のようなフローティングダイアログボックスが表示されます。この状態が続くと、モニターは 4 分後に省電力モードに入ります。



詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

モニターの設定

最大解像度の設定

Windows 8/8.1 の場合：

1. Windows 8 と Windows 8.1 の場合、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、**画面解像度**をクリックします。
3. 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、**3840 x 2160** を選択します。
4. **OK** をクリックします。

Windows 10 の場合：

1. デスクトップを右クリックし、**ディスプレイ設定**をクリックします。
2. 詳細**ディスプレイ設定**をクリックします。
3. **解像度**のドロップダウンリストをクリックし、**3840 x 2160** を選択します。
4. **適用**をクリックします。

オプションとして **3840 x 2160** が表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要があります。お使いのコンピューターによって、次の手順のいずれかを完了します。

Dell デスクトップまたはポータブルコンピューターをお使いの場合：

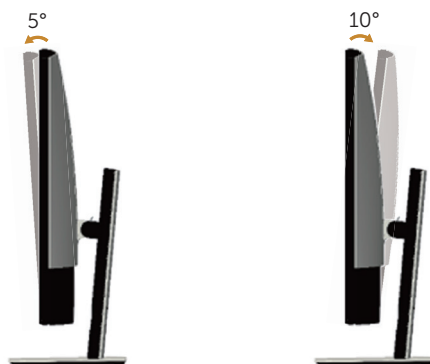
- **www.dell.com/support** にアクセスし、サービスタグを入力して、グラフィックカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell 以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- お使いのコンピューターのサポートサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。
- お使いのグラフィックカードの Web サイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。

傾斜の使用

モニターに付属のスタンドは、前方向に 5 度、後方向に 10 度までの傾きをサポートします。



トラブルシューティング

⚠ 危険: このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従って下さい。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの両方の電源を切ります。
2. コンピューターの裏側からビデオケーブルを抜きます。セルフテスト操作を正常に行うために、モニターの背面からデジタルとアナログケーブルをすべて取り外します。
3. モニターの電源を入れます。

モニターが正しく機能している場合、信号がないことが検出され、次のいずれかのメッセージが表示されます。セルフテストモードの間、電源 LED は白のまま点灯します。

The image displays three sequential screenshots of the Dell P4317Q monitor's self-test error messages. Each screen has a black header with the model name 'Dell P4317Q' and a grey body with a blue icon, error text, a progress bar, and the support URL 'www.dell.com/support/monitors'.

- Screen 1:** HDMI-Dケーブルなし (HDMI-D cable missing). The progress bar is approximately 10% full.
- Screen 2:** VGAケーブルなし (VGA cable missing). The progress bar is approximately 10% full.
- Screen 3:** DPケーブルなし (DP cable missing). The progress bar is approximately 10% full.



注意:このボックスは、通常のシステム操作時にも、ビデオケーブルが切断または破損した場合に表示されます。

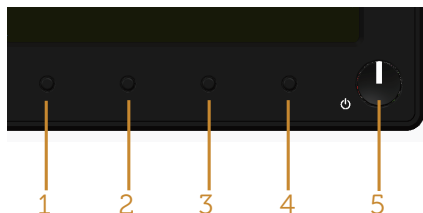
4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの両方の電源を入れます。

ケーブルを再接続してもモニターに何も映らなければ、モニターは正しく機能しているので、ビデオコントローラーとコンピューターを確認してください。

ビルトイン診断

モニターにはビルトイン診断ツールがあり、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定するために役立ちます。

注意:ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには：

1. 画面が汚れていないことを確認します (画面の表面に埃がないこと)。
2. コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
3. ボタン 1 を 5 秒間押したままにします。灰色の画面が表示されます。
4. 注意して画面の異常を調べます。
5. フロントパネルのボタン 1 をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか調べます。
7. ステップ 5 と 6 を繰り返し、緑、青、黒、白、テキスト画面で表示を調査します。

テキスト画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン 1 を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べてください。

共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED がオフ	<ul style="list-style-type: none">モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオなし / 電源 LED がオン	<ul style="list-style-type: none">OSD を利用し、輝度とコントラストコントロールを上げます。モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。ビルトイン診断を実行します。入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
焦点がおかしい	<ul style="list-style-type: none">ビデオ延長ケーブルを取り除きます。モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
揺れ / 不安定なビデオ	<ul style="list-style-type: none">モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。環境要因をチェックします。モニターを移動させ、別の部屋でテストします。
ピクセル抜け	<ul style="list-style-type: none">電源を入れ直します。常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。
常時点灯ピクセル	<ul style="list-style-type: none">電源を入れ直します。常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。
輝度の問題	<ul style="list-style-type: none">モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。OSD で輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何学的歪み	<ul style="list-style-type: none">モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。OSD で水平方向と垂直方向のコントロールを調整します。
水平 / 垂直ライン	<ul style="list-style-type: none">モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの線がセルフテストモードでも存在するかどうか確かめます。ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。ビルトイン診断を実行します。

同期の問題	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの乱れた画面がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ● コンピューターをセーフモードで再起動します。
安全関連の問題	<ul style="list-style-type: none"> ● どんな問題解決手段も実行してはいけません。 ● Dell にすぐにご連絡ください。
断続的な問題	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 ● モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。
色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションに応じて、色設定 OSD の 色設定モード を グラフィックス または ビデオ に変更します。 ● 色設定 OSD で異なる プリセットモード を試します。色設定 OSD で、ユーザーカラー の R/G/B 値を調整します。 ● 色設定 OSD で、入力カラー形式 を RGB または YPbPr に変更します。 ● ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源管理機能を使用して、使用しないときはモニターを常に切るようにします (詳細については 電源管理モード を参照してください)。 ● または、動的に変化するスクリーンセーバーを使用してください。

製品固有の問題

固有の症状	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイ設定 OSD で、アスペクト比設定を確認します。モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。
サイドパネルのボタンを使用してモニターを調整できない	<ul style="list-style-type: none">モニターの電源を切り、電源コードを抜き、もう一度差し、モニターの電源を入れます。OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合、電源ボタンの上にあるボタンを 10 秒間押し、ロックを解除します。(詳細については、ロックを参照してください)。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	<ul style="list-style-type: none">信号ソースを確認します。マウスを動かすかキーボードのいずれかのキーを押して、コンピューターが待機またはスリープモードにないかを確認します。ビデオケーブルが正しく差し込まれているかどうかを確認してください。必要に応じて、ビデオケーブルを差し込み直してください。コンピューターまたはビデオプレイヤーをリセットします。
画像が全画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">DVD の異なるビデオ形式 (アスペクト比) のため、モニターは全画面表示しません。ビルトイン診断を実行します。

ユニバーサルシリアルバス (USB) 固有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
USB インターフェースが作動していない	USB 周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none">● モニターの電源がオンになっているかをチェックします。● アップストリームケーブルをコンピューターに再接続します。● USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再接続します。● 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。● コンピューターを再起動します。● 外付けポータブル HDD のような一部の USB デバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピューターシステムに直接接続してください。
高速 USB 3.0 インターフェースが遅い	高速 USB 3.0 周辺機器の動作が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none">● コンピューターが USB 3.0 対応かどうかをチェックします。● コンピューターの中には、USB 3.0、USB 2.0 と USB 1.1 ポートを搭載しているものがあります。正しい USB ポートが使用されていることを確認してください。● アップストリームケーブルをコンピューターに再接続します。● USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再接続します。● コンピューターを再起動します。

Mobile High-Definition Link (MHL) 固有の問題

固有の症状	何が発生するか	可能な解決策
MHL インターフェースが作動していない	MHL デバイスの画像がモニターに表示されない	<ul style="list-style-type: none">● MHL ケーブルと MHL デバイスが MHL 認証のものであるか確認します。● MHL デバイスの電源がオンになっているかをチェックします。● MHL がスタンバイモードになっていないか確認します。● 実際の MHL ケーブル接続が OSD メニューで選択した入力ソース (つまり、HDMI (MHL) 1 または HDMI (MHL) 2) に対応しているか確認します。● MHL デバイスの中には復帰に時間を要するものがありますので、MHL ケーブルに接続した後、30 秒待ちます。

付録

危険:安全上の注意

 **危険:**この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がることがあります。

安全上の注意については、製品情報ガイドを参照してください。


FCC 通知 (米国のみ) およびその他の規制情報

FCC 通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンス Web サイト www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。

Dell に連絡

販売、技術サービス、顧客サービスについて Dell に連絡する場合は、下記にお問い合わせください。

1. www.dell.com/contactdell にアクセスしてください。
2. ページの一番下の **国 / 地域** の選択ドロップダウンメニューから、お住まいの国または地域を確認します。
3. 適切なサービスまたはサポートリンクを必要に応じて選択する、あるいは、希望する Dell への連絡方法を選択します。Dell では複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

 **注意:**有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入送り状、荷造伝票、請求書、Dell 製品カタログに掲載されています。